

シルバー いせはら

会報 第37号

平成24年4月15日

発行

(公社)伊勢原市シルバー人材センター
〒259-1131

伊勢原市伊勢原2-7-31シティプラザ1F
TEL 0463-92-8801 FAX 0463-92-0008
<http://www.sjc.ne.jp/isehara/>

利用円滑化の
お手伝い役です

利用者対応・電話・
会計・巡回・記録・
車誘導・施錠・etc

職群班クローズアップ⑤ 施設管理班



主な就業施設・人員

- 青少年センター 10人
- 南公民館 5人
- 高部屋公民館 5人
- 大田ふれあいセンター 5人
- 大山駐車場 10人
- 武道館 8人

**平成23年度
第2回総会
ワークシェアリングの推進
公益社団法人として新たなスタート**

年度事業計画、収支予算が審議承認され、公益法人組織に対応した委員会設置規程などが報告されました。
(3月21日(水)シテイプラザ 出席112人 委任状581通)



困難に立ち向かおう

理事長 岩崎 勲

「就業の公平化」などが課題

本日は多数の会員のご出席ありがとうございます。少子高齢化の進む中、当センターの存在がますます示される時代を迎えております。こうした状況下、私たちは「事業の拡大」や「長期就業是正やワークシェアリング推進」など多くの課題に取り組みつつあります。

また、昨年は当初、事務費率引上げによる受注減が懸念されておりましたが、二月末時点では、逆に前年を若干上回る受注増の実績を示しております。これは会員一人一人の努力による「口コミ」成果と誠実で責任ある就業姿勢の結果であると考えます。

公益法人化に向けて

ご承知の通り当センターは、四月より公益社団法人として新たにスタートするところです。本会でも、こうした事態に対応するため、専門部会の名称を委員会に変えるなど組織強化を図ります。

今後より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成24年度 事業計画概要

1 就業の拡充・開拓

- ①地域班による「口コミ」作戦等の受注先拡大
- ②女性会員の就業先拡大
- ③一般労働者派遣事業推進

2 公平な就業機会の推進

- ①長期就業の是正
- ②ワークシェアリング対象範囲の拡大
- ③無料職業紹介

3 組織体制の強化

- ①専門部会を改め、会員参画の委員会組織の設置
 - ②職群班による技能・知識・安全の向上推進
 - ③地域班活動の活性(会員の地域総会への参加を促す)
- 「自主・自立」意識の下での連携強化

4 安全・適正就業

- ①「安全就業推進員」を中心とした体制強化
- ②安全パトロールの推進

5 その他

- ①ホームページの強化。チラシ、パンフによる事業紹介。
- ②「シルバーいせはら」年4回発行。会員の声の反映化
- ③「公園緑花まつり」「健康家族フェスティバル」等への参加
- ④会費の見直しを検討
- ⑤公益法人への的確な対応
- ⑥中期基本計画の進行管理
- ⑦「子ども見守り」「道灌まつり清掃」等各種ボランティア活動への積極的な参加
- ⑧会員の親睦連携を深めるための旅行・同好会の推進

研修会・講習会等の一覧

- ①除草講習会(5月) ②刈払機講習会(6月)
- ③襖・障子張り講習会(9月)
- ④植木剪定・造園アシスタント講習会(10月)
- ⑤パソコン講習会(2月) 入会説明会(毎月)



予算書は丹念な説明だったけど、出席の皆さんに理解してもらえたかなあ。議長を務めた川上絃光さん



公益法人への移行説明は興味があったので、真剣に聞くことができました。増田忠昭さん



事務局の説明も丁寧で理解できたわ。出席してみてもやはりよかったです。小山晶子さん



これまではやや堅苦しい雰囲気だったけど、今回は質疑応答も出て充実した総会でしたね。渡辺 昇さん



事業計画をもう少し詳しく聞きたかった。女性の出席が少なくて、ちょっと寂しかったわ。平井清子さん



皆さんの直接討議が聞けてよかったですよ。年金生活ではセンターの存在は大きいよね。溝呂木國俊さん





本市も少子高齢化が進み65歳以上の方が二〇、四三一人(市人口の20・8%)となり超高齢社会になろうとしています。

市長 長塚 幾子
開催お祝い申し上げます。

また団塊世代は、この春65歳を迎え、多くの方々は「まだま

市長 祝辞
共にまちづくりを

「だ働きたい」と希望されています。

こうした状況下、貴センターの存在はますます重要となっております。

本市では今、「改革と協働」を柱とした「希望の持てる元気なまちづくり」を目指して進んでいます。日頃、会員皆様のお仕事ぶりや地域活動でのご活躍を拝見して大変感動しております。今後ますます健康で、安全安心して暮らせる、温もりある地域社会づくりに、共に活躍されんこと願ってやみません。

〈総会スケッチ〉 質疑応答から

質問―公益法人化によってこれまでとどんな違いが生じるのか

答え 就業することについてこれまでとは変わりません。変わる点

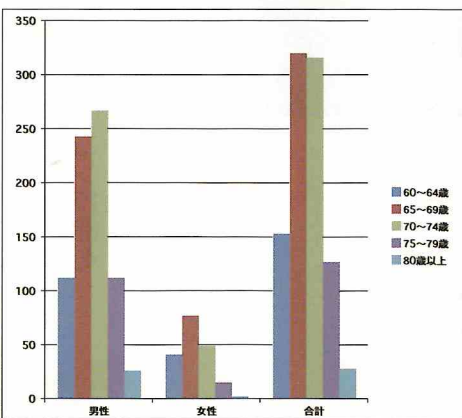
- ① 定時総会が年1回(5月)となります。
- ② 特定の会員への補助はできなくなります。(バス旅行等)
- ③ 税制上の優遇措置が受けられなくなります。
- ④ 運営では、定期的な立ち入り検査など、より厳格な指導監督を受けるほか、より高い透明性や公益性が求められることとなります。

質問―加齢により就業能力が著しく低下した会員の就業はどうなるのか

- ① 就業仲間にそうした傾向が見られたら、事務局へ情報提供をお願いします。
- ② 新規就業者や78歳以上の一部就業者者については事務局で面接等を行い適性判断をしています。



年齢	男性	女性	合計	構成比
60～64歳	112	41	153	16.2%
65～69歳	243	77	320	33.9%
70～74歳	267	49	316	33.5%
75～79歳	112	15	127	13.5%
80歳以上	26	2	28	3.0%
合計	760	184	944	



会員の年齢層別構成

会員の状況(平成24年3月16日現在)

職群	区分	NO	施設管理業務	就業会員数	平均就業日数(月)		
A	駐輪場	1	駐輪場伊勢原	37 → 40 (+3)	15.0日 → 12.1日		
		2	駐輪場愛甲石田	10 → 12 (+2)	13.9日 → 11.5日		
B	放置自転車	3	放置自転車警告(愛甲石田)	2 → 3 (+1)	19.8日 → 13.2日		
		4	放置自転車保管返還	3 → 4 (+1)	8.6日 → 6.4日		
		5	大山駐車場	8 → 10 (+2)	7.3日 → 5.8日		
		6	中央公民館	8 → 10 (+2)	9.0日 → 7.0日		
D	公民館	7	成瀬公民館	4 → 5 (+1)	8.0日 → 6.5日		
		8	大田公民館	3 → 4 (+1)	8.0日 → 6.0日		
		9	高部屋公民館	4 → 5 (+1)	8.0日 → 6.5日		
		10	伊勢原南公民館	4 → 5 (+1)	8.0日 → 6.5日		
		E	公共施設	11	武道館 (昼間)	3 → 4 (+1)	16.2日 → 12.1日
					(夜間)	3 → 4 (+1)	8.7日 → 6.5日
				12	青少年センター	8 → 10 (+2)	10.8日 → 8.7日
				13	市民活動サポートセンター	4 → 6 (+2)	10.2日 → 6.8日
		14	大田ふれあいセンター	3 → 5 (+2)	10.0日 → 6.0日		
計				104 → 127 (+23)	10.8日 → 8.1日		

公共施設等施設管理業務に係るワークシェアリング導入状況

市役所から受託している公共施設等施設管理業務については、ワークシェアリングの導入により、平均就業日数は10.8日から8.1日、就業会員数は104人が23人増加の127人となり、就業機会の機会均等を図ることができました。

なお、今年度は、更に他の職種へのワークシェアリングの拡大を考えています。



後任 小野 三三氏

祈りし、お礼申し上げます。今後のご活躍をお祈りし、お礼申し上げます。



局長代 理として 2年間ご

尽力いただいた藤元康博氏が、4月より市役所へ帰任されました。

藤元さんありがとうございました

4月分	5月18日(金)	10月分	11月15日(木)
5月分	6月15日(金)	11月分	12月14日(金)
6月分	7月13日(金)	12月分	1月18日(金)
7月分	8月15日(水)	1月分	2月15日(金)
8月分	9月14日(金)	2月分	3月15日(金)
9月分	10月15日(月)	3月分	4月15日(月)

平成24年度 配分金支払日

本市より三作品 佳作受賞 県コンクール

「安全就業標語」の部

・「安全」は自分自身の合言葉 高橋貞郎さん
 ・今一度慣れた仕事も初心に帰る 西野紀夫さん
 「ヒヤリハット体験事例」の部

駐車場の清掃において、投棄されたゴミが強風により道路に散乱し、車が絶えず通る中で清掃は車が体すれすれに通る、また竹箒の先が轢かれた事もあった。地域の人と話し合い、収集場所を路地に移動してもらったこととした。松倉三千夫さん

安全は万全ですか 第2回安全パトロール

3月29日(木) 上粕屋遺跡発掘・大山駐車場樹木剪定
 安全部会(陶山・菊地) 事務局2名 広報2名



大型機材や諸用具への危険予知意識をもって(上粕屋遺跡発掘)



駐車場をいつもきれいに折れ枝処理や枯葉清掃(樹木剪定)

事故の目撃者! 熱心な討議47名

- ・事故発生状況報告
- ・安全作業のすすめ
- ・意見交換



1/24 「安全就業研修会」
 植木造園班・除草班

就業開拓・自主事業の開発で組織強化を!

第2回地域班班長・副班長会議

2月13日、各地域班班長・副班長(16名)と鈴木事務局長他職員2名が出席し開催されました。鈴木事務局長のあいさつで、専門部会の見直しについて話され『専門部会の委員は各職群班や地域班の皆さんになっていただき



きたい』『就業率は毎年低下しております。昨年度は七割を切った。シルバーの重要課題でもある就業開拓、自主事業の開発で地域班と職群班が連携し組織強化を図ってほしい』との話がありました。議事では、①各班の活動状況の報告②各班の総会の開き方や参加の意識づけなどが話し合われ、事務局への要望・意見がいくつか出されました。

パソコン講習会

就業のためにパソコン技能を

2月21日～23日の3日間に渡り恒例のパソコン講習会が八幡台作業所2階で開催されました。当日は応募者の中から



募者の中から当選した15名が参加し、パソコンクラブ(SPC同好会)の講師と和やかに初級編を学習しました。

同好会 ハイク 第31・32回

3/29 石垣山一夜城 28名

2/16 松田・最明寺 30名



快晴の一夜城からの眺めは最高



午後はちらつく雪の中でした

事務局だより

県シルバー人材センター連合会主催「安全就業標語」「ヒヤリハット体験事例」募集の際は、会員、職員から16作品の応募をいただきありがとうございます。標記のように3点の入賞も出て、事務局としてたいへん嬉しく思っています。今後とも、会員には安全就業を心がけていただき、事故ゼロを目指しましょう。

(鈴木事務局長談)
 4月より、臨時職員を1名増員しました。

定時総会(予定)5月31日(木)14時